

# 農業委員会だより

発行/四街道市農業委員会 ☎/421-6155  
 編集/農業委員会だより編集委員会

平成31年4月1日 新委員スタート



会長 江原 清

《会長就任のごあいさつ》

農家の皆様におかれましては、農作業が本格化する時期を迎え益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

このたび改選後の総会において農業委員会会長に選出され、就任させていただきました。

近年、農業従事者の高齢化・後継者不足や、遊休農地の増加など、本市の農業を取り巻く環境は、依然として厳しい状況にあります。新体制の下、14人の農業委員と8人の推進委員が連携・協力仕合い、地域に密着した様々な活動を通じ、農地利用の最適化に取り組む所存でございます。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げ、就任のご挨拶とさせていただきます。

農家数	481	内販売農家数	276	専業	第1種兼業	第2種兼業
				77	31	168
		内自給的農家	205			

平成27(2015)年農林業センサス(単位:戸)

平成 30 年 7 月 17 日に印西市の農政課・農業委員会を訪問し、鳥獣被害対策と水田の大規模基盤整備の各取り組みについて視察研修を行いました。

鳥獣被害対策では、印西市におけるイノシシ対策に特化して講演を頂きました。イノシシは、春秋 2 回の出産期があるようで産仔数は 5 から 8 頭で多産であること。農業被害は畦畔の掘り返しやヌタ場として侵入する他、タケノコやトウモロコシなど時期になると被害は年々増加しているようです。生息場所は耕作放棄地が恰好の場とのことで、これを減らす又は新たに発生させない活動こそが地域には欠かせないと認識しました。被害農家と被害集落が一致団結して果敢に行動を起こさなければ対処できない様子が伺えました。

次の水田の大規模基盤整備事業は、印西市・八千代市合同の基盤整備事業でした。平成 13 年度から委員会を立ち上げ、事業期間は平成 17 年度から 24 年度の 8 年間でした。総面積は約 58ha、総事業費は 6.7 億円で、現地の視察では区割りが大きく効率の良い田圃に見えました。26 年度より集積した農地を A、B、C の 3 ブロックに割り付けし、1 年 1 作のブロックローテーションが行われ、米の他、導入作物は、WCS 用稲・大豆で現在も継続中とのことです。区割りが大きくなり用水路・排水路が改善されたことで作業効率が向上、労力も減少し、作業期間は短縮され原価低減へと繋がる構図が出来上がり、売上が変化しないなかでも利益が出る仕組みが構築されておりました。これが米農家のあるべき姿であり、農業生産基盤を確立していくものだと感じました。

## 平成 31 年度標準農作業料金表

作業種目		契約条件	金額(円)
手 作 業	水田作業	1日当り	9,900
	畑作業	1日当り	8,200
機 械 作 業	耕起 (トラクター)	10a当り	6,000
	代かき (トラクター)	10a当り	6,300
	畦ぬり (トラクター)	1m当り	40
	植付(田植機)	10a当り (苗代除く)	7,000
	刈取脱穀 (コンバイン)	10a当り	18,000
	乾燥調整	60kg 当り	2,700
	育苗	1箱当り(土・種代 含む)	800
	畑作業 (トラクター)	10a当り	5,500



### 四街道市農地の賃貸借情報について

平成 30 年 1 月から 12 月までに、本市において締結（公告）された賃貸借における賃借料水準（10 a 当たり）は、次のとおりとなりましたのでお知らせします。

区分	平均額 (円)	最高額 (円)	最低額 (円)	データ数
田 (水稲)	14,000	31,800	7,900	26件
畑 (普通畑)	10,500	20,400	1,200	17件

- ※賃借料を物納(米)で設定されている場合は、米 60kg 当たり 13,800 円に換算している。
- ※金額は、算出結果を四捨五入し、100 円単位としている。
- ※平均額は、データ数により加重平均した値である。
- ※データ数は、集計に用いた締結数である。

## 『有機農業にチャレンジ』



伊藤 由貴さん

私は、長らく都内の広告代理店で制作の仕事に就いていましたが、働き方や忙しい生活に疑問を持ち、色々と思索・検討した結果、地元で働きたいこと、小さい頃から土いじりが好きなこと、いままでのものづくりの感覚が生かせることなどから、一念発起して農業へチャレンジすることにしました。

佐倉市内の有機栽培農家に受け入れていただき、1年半の研修を経て2018年4月に四街道市(亀崎)で新規に就農をしました。研修は野菜中心で80品目以上の作物の栽培や土作り、野良仕事、機械の操作など様々な事を学びました。また、今も館山の農園に月1回のペースで通い、イチジクについての勉強も続けています。

もともと四街道で育ちましたが、サラリーマン家庭で非農家出身のため、情報も乏しく、新規就農のための準備や農地を探すのがとても困難でしたが、市や農業委員の方々に相談にのっていただき、おかげさまでまとまった場所に要件や希望を満たす農地を紹介していただくことができました。こころよく農地を貸していただいた貸主の方にもとても感謝しています。

有機栽培を目指している事もあり、就農から1年近く経った今もまだまだ手探りで心もとなく、色々と考えを巡らせていて、なかなか軌道にのせることができていませんが、焦らず、今はとにかく継続させることを第一に頑張りたいと思います。

## 農業者年金に加入しませんか？！

あなたの老後生活への備えは十分ですか？

年金は家族一人ひとりについて準備することが大切です。

老後の備えは国民年金プラス農業者年金が基本です。



- |                              |  |
|------------------------------|--|
| ① 国民年金の第1号被保険者<br>(納付免除者を除く) | ☆ ①、②、③の要件を満たせば、どなたでも加入できます。<br>☆ 積み立てた保険料とその運用益で将来受け取る年金額が決まる「積立方式(確定拠出型)」です。 |
| ② 年間60日以上農業に従事               | ☆ 保険料(2万~6万7千円)を自由に決められます。<br>☆ 支払った保険料は全額社会保険料控除の対象になります。                     |
| ③ 20歳以上60歳未満                 | ☆ 将来受け取る年金も、公的年金等控除が適用されます。  |

農業者年金のお問い合わせは、農業委員会事務局(☎421-6155)

J A千葉みらい四街道支店(☎422-2200) ※お気軽にお電話ください。

## 市の農地バンクを活用しませんか

農家のみなさんは肌身で感じていることでしょうか、高齢化に伴う離農や、後継者不足等による担い手の減少により、耕作放棄地は今より一層増加することが予想されます。

耕作放棄地を放置することは、農村環境の悪化のみならず、イノシシ等の有害鳥獣の棲家にもなっており、耕作放棄地の解消は、農業が抱える解決しなければならない喫緊の課題のひとつでもあります。

そこで、平成30年度より耕作放棄地対策の一環として、市独自の「農地バンク」の事業を始めました。農地バンクは、農地の貸し手と借り手の情報を登録して、農地の貸し借りをお手伝いする制度です。平成31年度からは、農地バンクを活用して農地の賃貸借契約が成立した場合、農地の借り手に対し一定の要件を満たせば奨励金が出ます。

農地の貸し借りについてお困りでしたら、ぜひ活用してみませんか。



### 農地バンクの登録対象者

#### 農地を貸したい人

- 農業経営を縮小したいけど、借り手が見つからず困っている。
- 高齢等で農業をやめたいけど、貸す相手が見つからない。

・・・など



#### 農地を借りたい人

- 新たに農業を始めたいけど、農地が見つからない。
- 農業経営の規模を拡大したい。

・・・など

※法令等で農地を借りる要件があります。

- ・自作地を含め 5,000 m<sup>2</sup>以上耕作すること
- ・農作業に常時従事すること
- ・農地として利用すること・・・など

【お問い合わせ】 産業振興課農政係

TEL 043-421-6133

#### 編集後記

平成30年は、記録的な猛暑、西日本豪雨、北海道の地震など自然災害の多い年でした。昨年に限らずここ近年は、地球規模での気候変動が伝えられ、それに伴う自然災害が多発、冷夏暖冬はあたりまえで、例年通りとはいったいいつのことを言っているのかさっぱりわかりません。農業とは「土地の力を利用して有用な植物を栽培し、有用な動物を飼養する、有機的な生産業である。」と辞典には書いてありますが、環境変化の中での生産活動は大変なことだと感じると同時に、農家の皆様には感謝と敬意を表します。今年は平成から元号が変わりますが、皆様にとりましてよい時代となりますよう祈念いたしまして編集後記といたします。(JA千葉みらい 四街道支店長 松吉 賢太郎)

農業と農政の  
情報が満載です!

**全国農業  
新聞**  
NATIONAL  
AGRICULTURAL  
NEWS

毎週金曜日発行

月額700円(送料・税込)

お申し込みは

農業委員会事務局まで